

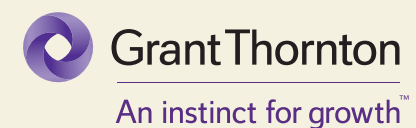


「会社の将来を考えると夜も眠れない」と、社長は言った。リーマンショックを乗り越え、過去の累積欠損を解消。建設業としていよいよこれからという時だが、その表情に笑みはない。「オリンピック需要で2020年までは何とかなるだろう。問題はその後。あのときの苦しい思いは二度としたくない。だから、ベトナム進出は社運をかけた挑戦なんです」。この言葉の重みを受けとめるのは、私だけではない。現地のパートナー企業、グラントソントン現地事務所、日本の金融機関。全員がこの挑戦の当事者である。大手企業のように資金も人材も潤沢なわけではない。だからこそ戦略から施策の細部まで、私たちに求められる役割の大きさにプレッシャーを感じるも、これがプロとしての成長につながると実感する。最近では会社の将来を見据えた事業承継プロジェクトも同時並行で動きはじめた。次なる未来は、走り始めているのだ。未来を待つのではなく、自分で掴みとるために走れ。そう言い聞かせながら、私は今日も全力疾走している。

Precious One.

経営者の切実な想いとともに関わる仕事、国境や業種をこえて様々なパートナーシップを組む仕事、事業承継など企業とオーナーの両方をサポートする仕事。どの仕事にも、強い想いがあり、心を揺さぶるドラマがあります。説明会ではこのような具体的なエピソードを担当者自ら紹介したいと考えています。

2021年の スタートライン。



太陽グラントソントン税理士法人

〒107-0061 東京都港区北青山1-2-3 青山ビル9F
Tel: 03-5770-8829 (担当/田代) Mail: tax-recruit-tokyo@jp.gt.com